# HOT NEWS

## 雲 仙 復 興 事 務 所

平成25年　9月25日

| 全国のロボット研究者・雲仙普賢岳に大集合！ | 発信元<br>雲仙復興事務所<br>砂防課　長田茂美 |
|---|---|

〇最先端のロボット工学の学識者11名が、平成25年9月17日、雲仙普賢岳で実施されている無人化施工技術を視察し、事務所職員や建設無人化施工協会らからヒアリングを行いました。
〇次の日には、マルチコプターの試験飛行を実施され、活火山地域における無人調査機の有効性や無人化施工機械に与える影響等の確認が行われました。
〇本省公共事業調整課長をはじめ本局施工企画課・九州技術事務所からも参加され、熱心な意見交換が行われ、無人化施工技術をはじめとする技術開発や人材育成に係わる取り組みについて、連携して推進していくことを確認しました。

無人化施工操作室視察

マルチコプターの試験飛行

◆無人化施工機械

ダンプトラック（55t）
人や車と比べてこんなに大きいんです。無人でも有人でも運転出来るようになっています。

バックホー（4m3）

移動カメラ車

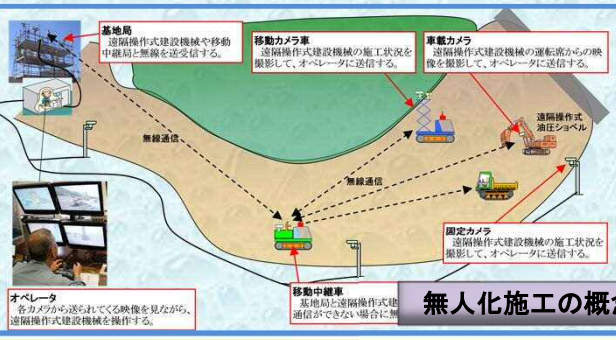
※他にも様々な機械があります

無人化施工工事現場視察

無人化施工技術の説明

【雲仙普賢岳における無人化施工】

溶岩ドームの崩落や土石流によって被害が想定される水無川・赤松川流域では立入が禁止された「警戒区域」が設定されています。
「警戒区域」内での工事を行う際は安全な場所から建設機械を遠隔操作し作業を行う「無人化施工」で行っています。




無人化施工の概念図